

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	文化財保護費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	007	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 35 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	文化財保護の推進を図るため、文化財の調査・研究、保存・管理の指導及び補助、普及・活用事業の実施、また開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理などを実施する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業実施内容	江島神社の真名本江嶋縁起、鶴沼皇大神宮人形山車、清浄光寺の大イチョウに対し藤沢市指定重要文化財等修理等補助金を交付。二ツ家稲荷神社の「庚申供養塔」他3件の文化財説明板等を修繕。埋蔵文化財包蔵地内における土木工事計画に基づき、確認調査を59件(うち国庫補助対象は54件)実施し、埋蔵文化財の取り扱いについて指導した。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社 吾妻考古学研究所) (委託等内容 : 埋蔵文化財の確認調査等) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 江島神社の真名本江嶋縁起、鶴沼皇大神宮人形山車、清浄光寺の大イチョウ) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 29,950 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	16,842 千円	埋蔵文化財確認調査等作業業務委託等
		負担金補助及び交付金	4,038 千円	江島神社真名本江嶋縁起修理等補助金等
		報酬	5,543 千円	埋蔵文化財業務員報酬、文化財保護委員報酬
		需用費	1,514 千円	南鍛冶山発掘調査報告書印刷製本、説明板修繕等
その他	2,013 千円	報償費、旅費、役務費、使用料及び賃借料		
財源内訳	R元年度 支出済額 29,950 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	3,934 千円	
		県支出金	1,311 千円	
その他 ()				
一般財源	24,705 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	4.88
再任用短時・任期付短時職員	0.80
非常勤職員	2.00
合計	7.68

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	72,312	69,744	83,210	71,893			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	69,806	69,776	80,255	76,411			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	25,597	25,616	24,425	24,557			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	44,209	44,160	55,830	51,854			
	①職員給与合計(常勤)	36,614	37,017	50,812	44,520			
	②報酬合計(非常勤)	5,580	5,393	2,696	5,393			
	③退職金相当額	2,015	1,750	2,322	1,941			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,506	-32	2,955	-4,518			
	①減価償却費	243	243	243	243			
	②退職給与引当金繰入額	2,263	-275	2,712	-4,761			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	170.10	425,105	163.14	427,501	193.82	429,317	166.01

成果実績	指標名	国・県・市指定重要文化財の件数	目標	98	単位 件	99	単位 件	101	単位 件	105	単位 件
			実績	98	単位 件	99	単位 件	101	単位 件	105	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			737,877.55	704,484.85	823,861.39	684,695.24					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	文化財保護の推進を図るため，文化財の修理補助を行っているが，災害等による予測できない修繕が発生した時に予算措置がされていないことから，年度内に修復を完了することが難しい。
(2) (1)解決のための今後の取組	所有者等と連携を密にし，対象となる文化財の状況把握を行い，事前の対応を図るとともに，災害等による修繕が発生した場合は，所有者等と速やかに調整のうえ，実施方法や時期等の対応を検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	文化財の調査・研究，保存・管理の指導及び補助，普及・活用事業の実施，並びに開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理を実施することにより，文化財の保護を推進することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	各種事業を継続して行い，文化財の保護と普及及びその活用を図り，より多くの文化資産の次世代への継承に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	文化財保護委員会に関すること	無	無	1	3
2	文化財・郷土資料の調査に関すること	無	無	1	1
3	文化財の指定に関すること(国・県・市)	無	無	1	2
4	文化財の登録に関すること(国)	無	無	1	2
5	文化財情報の提供に関すること	無	無	1	
6	市指定文化財管理奨励交付金に関すること	無	無	1	3
7	市指定重要文化財等修理等補助金に関すること	無	無	1	3
8	国・県指定史跡定期現状確認調査に関すること	無	無	1	
9	県指定史跡名勝「江ノ島」の現状変更に関すること	無	無	1	
10	指定文化財の現状変更等に関すること	無	無	1	
11	特定開発条例に基づく照会に関すること	無	無	2	3
12	文化財保護推進員に関すること	無	無	1	
13	文化財標柱・説明板に関すること	無	無	1	
14	文化財調査報告書の刊行に関すること	無	無		1
15	文化財等の賃貸借契約・支払に関すること	無	無	1	3

16	埋蔵文化財の周知・照会に関すること	無	無	1	3
17	埋蔵文化財に関する指導・助言・連絡調整に関すること	無	無	1	1
18	埋蔵文化財確認調査等に関すること	無	無	2	1
19	文化財保護法(埋蔵文化財関係)に基づく届出等に関すること	無	無	1	1
20	埋蔵文化財国庫補助事務に関すること	無	無	1	1
22	遺跡調査速報展等展示公開に関すること	無	無		
23	埋蔵文化財(出土品)の整理・調査報告書の刊行等に関すること	無	無		1
25	埋蔵文化財業務員(非常勤職員)に関すること	無	無	3	3
27	有償頒布物の販売に関すること	無	無	1	1
29	相模ささら踊り大会に関すること(他市が当番)	無	無	1	1
31	地名の研究に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	埋蔵文化財包蔵地資料整備費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	007	説明	02	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	平成 17 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	埋蔵文化財に関する資料を収集・整理し、公的資料として公開可能なものとするための整理作業を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 文化芸術振興基本法					
事業実施内容	確認調査による出土遺物83点の実測図を作成した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社 吾妻考古学研究所 横須賀調査室) (委託等内容 : 出土遺物の実測, 拓本, 重量計測, 土器接合の整理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 800 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	800 千円	埋蔵文化財包蔵地資料の整理
財源内訳	R元年度 支出済額 800 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	800 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.24
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.24

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	3,269	4,423	3,404	2,674
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,953	4,323	2,998	2,943
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,813	1,998	300	800
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	2,140	2,325	2,698	2,143
	①職員給与合計(常勤)	2,086	2,262	2,567	2,033
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	54	63	131	110
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-684	100	406	-269
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-684	100	406	-269
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.69	10.35	7.93	6.17	

成果実績	指標名	実測図作成遺物の点数	目標	57	単位 点	75	単位 点	6	単位 点	83	単位 点
			実績	57	単位 点	75	単位 点	6	単位 点	83	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			57,350.88	58,973.33	567,333.33	32,216.87					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	出土遺物のうち、整理が必要な資料数が非常に多く、また、当該年度中に新たに整理すべき出土遺物の移管もあるため、終了するまでに非常に長い期間を要する。
(2)	(1)解決のための今後の取組	前年度の確認調査の実施状況及び未整理の出土遺物量を基に計画的に進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	埋蔵文化財包蔵地に関する資料を収集・整理し、公的資料として公開可能なものとするための報告書刊行の準備ができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	今後も埋蔵文化財包蔵地に関する資料を行政資料として公開可能とする事業を継続する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
21	埋蔵文化財包蔵地資料整備事業に関すること	無	無		1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	歴史的建造物維持活用費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	007	説明	03	課等の長	田代 俊之	電話	5313

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民が文化財にふれる機会を拡充し、郷土に対する理解と愛着を深めるため、歴史的建造物「旧三鶯八郎右衛門家住宅」を賃貸借し、保存していくとともに公開・活用する。						
対象	1. 個人	市民				433,060	人
根拠法令等	法律等	文化財保護法, 文化芸術振興基本法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事業実施内容	旧三鶯八郎右衛門家住宅を後世に記録として残すための調査を実施						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 570 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	570 千円	歴史的建造物の展示資料に係る調査謝礼等
財源内訳	R元年度 支出済額 570 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	570 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.35
再任用短時・任期付短時職員	0.02
非常勤職員	0.00
合計	0.37

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A	11,900	6,701	7,985	4,124
(1)現金を伴う支出 (千円)	12,944	8,000	8,022	4,091
事業費(支出済額-②報酬合計)	4,428	4,471	4,578	570
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	8,516	3,529	3,444	3,521
①職員給与合計(常勤)	8,135	3,377	3,284	3,319
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
③退職金相当額	381	152	160	202
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,044	-1,299	-37	33
①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-1,044	-1,299	-37	33
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	27.99	15.67	18.60	9.52
	425,105	427,501	429,317	433,060

成果実績	指標名	歴史的建造物の来場者数	目標	1,500	単位	1,500	単位	1,500	単位	0	単位
			実績	1,765	単位	1,414	単位	1,627	単位	0	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			6,742.21	4,739.04	4,907.81	-					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	所有者が民間事業者に土地及び建物を売却され，宅地造成工事が行われることから，平成31年4月1日から公開を一時休止している。公開再開は令和元年7月頃の予定であったが，工事が遅れたため公開ができなかった。宅地造成工事がいつ終了するか不明のため，公開期間が不透明である。
(2)	(1)解決のための今後の取組	公開活用を1日でも長く行うために，適宜宅地造成工事の日程を確認し，事業者及び地域市民団体と公開に向けて協議する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	歴史的建造物「旧三鶯八郎右衛門家住宅」を賃貸借することで保存・公開・活用の事業を実施し，市民が文化財にふれる機会を増やすことができた。	
	事業の方向性	事業縮小
今後の方針	所有者が民間事業者に土地及び建物を売却，宅地造成工事が行われることから，平成31年4月1日から公開を一時休止している。道路が使用可能になり次第，新型コロナウイルス感染症対策を行った上で再開する。また，建物は解体予定のため，後世に記録として残すために必要な調査を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
15	文化財等の賃貸借契約・支払に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	ふじさわ宿交流館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	008	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	旧東海道藤沢宿周辺地区の歴史的まちづくりの拠点施設であるふじさわ宿交流館の管理・運営を行い、展示及び事業を開催し、市民が郷土愛を育み、郷土の歴史・文化に触れる機会を拡充する。						
対象	1. 個人	市民				433,060	人
根拠法令等	条例(市)	ふじさわ宿交流館条例, ふじさわ宿交流館条例施行規則					
事業実施内容	ふじさわ宿交流館の運営管理 ふじさわ宿交流館指定管理者である(公社)藤沢市観光協会による事業の実施						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公社)藤沢市観光協会) (委託等内容 : ふじさわ宿交流館の運営管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 29,858 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	29,236 千円	ふじさわ宿交流館指定管理料, 警備委託料
		使用料及び賃借料	244 千円	パソコン機器等賃借料, ビジネスフォン賃借料
		報償費	225 千円	報償金
財源内訳	R元年度 支出済額 29,858 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	43 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	29,815 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.68
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.68

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	0	0	48,722	41,099				
(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	39,816	36,344				
事業費(支出済額-②報酬合計)			30,068	29,858				
償還金利息			112	103				
人件費合計(①+②+③)	0	0	9,636	6,383				
①職員給与合計(常勤)			9,167	6,025				
②報酬合計(非常勤)			0	0				
③退職金相当額			469	358				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	8,906	4,755				
①減価償却費			5,894	5,894				
②退職給与引当金繰入額			3,012	-1,139				
③不納欠損額			0	0				
④その他 ()			0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	425,105	0.00	427,501	113.49	429,317	94.90	433,060

成果実績	指標名	ふじさわ宿交流館の来館者数	目標	-	単位	-	単位	26,000	単位	26,000	単位	人
			実績	-	単位	-	単位	30,022	単位	35,494	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		1,622.88		1,157.91		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	拠点施設として地域の賑わいを創出するため，地域団体，近隣自治会，民間事業者等連携しながら，事業展開を進めていく必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	指定管理者とともに，地域の市民活動団体等と連携して事業を行い，関係性の構築を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	開館当初から積極的な周知活動を進める中で，様々な事業を実施した成果もあり，多くの方に来館をいただいた。市の保有する文化財や地域の文化資産に市民が触れられる環境が拡充した。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	平成31年度から5年間の引き続き指定管理者を（公社）藤沢市観光協会とし，ふじさわ宿交流館の運営管理を行う。藤沢の歴史や文化に市民が触れられる環境を整備するとともに，東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて，藤沢の歴史・文化の発信を進めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
50	ふじさわ宿交流館指定管理者との連絡調整に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	歴史資料公開活用費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	009	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢の歴史に関する調査研究の成果や収集資料を展示公開するとともに、講座・刊行物・ホームページ等により、歴史に関する学習機会の確保並びに情報提供を図る。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法・博物館法					
事業実施内容	1. 歴史資料展示公開事業として、市民ギャラリーでの資料紹介展・企画展や公民館等を会場とした地域展示を開催し、合計56,851人が入場した。 2. 学習支援・情報提供事業として、地域団体や公民館等との共催で地域の要望に合わせた講座を実施し、2,175人が参加した。また、小学生のための郷土資料講座として、小学校へ出向いてカリキュラムに合わせた授業を実施し、延べ37校、3,879人の児童が受講した。 3. 「電子博物館みゆネットふじさわ」による藤沢の郷土資料等の情報提供し、81,375回のページビューがあった。 4. 歴史的建造物である新林公園内古民家の展示公開を実施した。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社エイエイピー横浜支店) (委託等内容 : 電子博物館「みゆネットふじさわ」及び藤澤浮世絵館ホームページの改修・運営管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 2,858 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	1,110 千円	電子博物館「みゆネットふじさわ」及び藤澤浮世絵館ホームページの改修・運営管理
		需用費	635 千円	消耗品、展示パネル・小学校講座資料印刷費ほか
		賃金	499 千円	展示・小学校講座対応臨時職員
		使用料及び賃借料	327 千円	電子博物館「みゆネットふじさわ」及び藤澤浮世絵館ホームページのサーバ等使用料
役務費	287 千円	新林公園鯉のぼり棹設置・撤去手数料ほか		
財源内訳	R元年度 支出済額 2,858 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	2,858 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	2.43
再任用短時・任期付短時職員	0.18
非常勤職員	0.00
合計	2.61

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	行政費用 A	27,608	30,959	16,798	27,155			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	25,810	30,320	20,522	25,843			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,626	3,346	4,388	2,858			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	22,184	26,974	16,134	22,985			
	①職員給与合計(常勤)	20,932	25,770	15,407	21,841			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,252	1,204	727	1,144			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,798	639	-3,724	1,312			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,798	639	-3,724	1,312			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	64.94	425,105	72.42	427,501	39.13	429,317	62.70	433,060

成果実績	指標名	市民ギャラリー等における展示会入場者数・歴史講座等参加者数、小学生のための郷土資料講座参加者数	目標	18,500	単位 人	18,500	単位 人	18,500	単位 人	18,500	単位 人
			実績	15,711	単位 人	15,590	単位 人	16,439	単位 人	62,905	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				1,757.24	1,985.82		1,021.84		431.68		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	常設展示室の移転、南図書館との複合化に伴って効果的な事業展開を進める必要がある。また、電子博物館みゆネットふじさわの閲覧数を増やすためのさらなる取り組みが必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	常設展示室については、南市民図書館と連携した事業を進める。また、電子博物館みゆネットふじさわについては、さらなるコンテンツの追加や積極的な周知を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	郷土の歴史に関する展示・講座等を引き続き行うとともに、電子博物館みゆネットふじさわホームページにより、市民に藤沢で収集している資料等の公開を行うことができた。また、常設展示室の移転に伴う準備を進めることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	電子博物館みゆネットふじさわ等を活用し、歴史に関する学習機会の確保並びに情報提供を図るとともに、歴史資料の公開活用を進めるにあたっては、地域の人たちの協力を得て、さらに多くの方の地域の歴史・文化に対する関心を高めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
22	遺跡調査速報展等展示公開に関すること	無	無		
32	「電子博物館みゆネットふじさわ」の運用に関すること	無	無	3	3
33	歴史資料の展示公開に関すること	無	無	3	3
34	講座・講演会の実施に関すること	無	無	3	3
36	小学生のための郷土資料講座に関すること	無	無	3	1
37	湘南台文化センターこども館における資料展示に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	歴史資料関係事務費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢の歴史に関する調査研究, 資料収集, 整理保管を進めるとともに, 公開施設並びに保管施設の検討を進める。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	文化財保護法・博物館法					
事業実施内容	考古資料保存処理, 考古・民俗資料整理, 公開施設並びに保管施設の検討						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 芸匠) (委託等内容 : 考古資料修復業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 3,789 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	1,012 千円	考古資料修復業務委託
		賃金	764 千円	考古・民俗資料整理補助
		需用費	641 千円	考古・民俗資料収納箱, 発掘作業等事務用品ほか
		報償費	600 千円	考古・民俗資料指導助言等謝礼
その他	772 千円	役務費, 使用料及び賃借料, 負担金補助及び交付金, 旅費		
財源内訳	R元年度 支出済額 3,789 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (雑入)	14 千円			
一般財源	3,775 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.46
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.46

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	20,472	18,445	15,990	17,983			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,472	19,178	16,116	17,489			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,933	4,955	3,671	3,789			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	12,539	14,223	12,445	13,700			
	①職員給与合計(常勤)	11,831	13,699	11,896	12,932			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	708	524	549	768			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,000	-733	-126	494			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,000	-733	-126	494			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	48.16	425,105	43.15	427,501	37.25	429,317	41.53

成果実績	指標名	収蔵資料件数の合計	目標	64,815	単位	件	64,932	単位	件	64,952	単位	件	64,966	単位	件
			実績	64,815	単位	件	64,932	単位	件	64,952	単位	件	64,966	単位	件
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由															
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			315.85			284.07			246.18			276.81			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	資料保管施設の老朽化及び資料の適切な保管
(2)	(1)解決のための今後の取組	第2次藤沢市施設再整備プランにおける文化財収蔵庫整備の検討

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢の歴史に関する調査研究，資料収集，整理保管を進めた結果，公開施設並びに保管施設の検討を進めるための収蔵品の整理を行うことができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	藤沢の歴史に関する調査研究，資料収集，整理保管をさらに進めるとともに，公開施設及び保管施設の検討を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
38	歴史資料の受入及び整理保管に関すること	無	無	1	1
39	歴史資料の購入に関すること	無	無	1	
40	収蔵資料の貸出に関すること	無	無	1	3
41	収蔵施設の整理・管理に関すること	無	無	3	1
42	臨時職員に関すること	無	無	2	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	保管施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	010	説明	02	課等の長	田代 俊之	電話	6731

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	収蔵資料を適切な環境で保管管理できるよう、収蔵庫の修繕及び必要な点検等を行う。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	文化財保護法					
事業実施内容	収蔵資料を適切な環境で保管管理できるよう、収蔵庫の修繕及び必要な点検等を行う。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : セコム株式会社・総合警備保障株式会社湘南支社) (委 託 等 内 容 : 収蔵庫(3箇所)の警備業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 3,592 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		役務費	1,298 千円	消防等設備点検, 樹木剪定等
		需用費	1,203 千円	収蔵庫修繕, 光熱水費
		委託料	1,091 千円	収蔵庫警備業務委託
財源内訳	R元年度 支出済額 3,592 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	3,592 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.06
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.06

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	25,525	28,002	25,753	28,415			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,796	12,299	11,179	12,948			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,079	3,116	3,283	3,592			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,717	9,183	7,896	9,356			
	①職員給与合計(常勤)	7,281	8,758	7,544	8,888			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	436	425	352	468			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	14,729	15,703	14,574	15,467			
	①減価償却費	15,436	15,436	15,279	15,279			
	②退職給与引当金繰入額	-707	267	-705	188			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	60.04	425,105	65.50	427,501	59.99	429,317	65.61	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		保管施設の適切な維持管理を事務事業としていることから、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	各収蔵施設が離れているため，日常的な管理が難しい。野生動物や草の繁茂，大雨時の土砂の流出，施設老朽化による雨漏りや空調の故障などの問題発生時の対応に時間を要する。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設の状況を定期的に点検し，異常個所の把握に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	施設老朽化が進む中で，修繕を進めながら施設の機能を維持することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	施設老朽化が進む中で，修繕を進めながら施設の機能を維持し，資料整理を継続して行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
38	歴史資料の受入及び整理保管に関すること	無	無	1	1
40	収蔵資料の貸出に関すること	無	無	1	3
41	収蔵施設の整理・管理に関すること	無	有	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------